

# 倉敷市自転車利用促進基本方針

平成24年2月

日常目にしない空間が発見できるのも、自転車ならではの楽しみです。友人たちや家族でゆっくり「くらしき」を楽しみながら走ってみてはいかがでしょうか。



**自転車だから発見できる！ゆっくり楽しもう「くらしき」**

# なぜ、いま自転車？どうしたらみんなで利用できるかな？

倉敷市は、晴れの日が多く、雨が少ない気候に恵まれているよ。

通勤や買い物を自動車から自転車へ変えることで、地球温暖化対策になるよ。

毎日利用することで健康づくりにもなるよ。

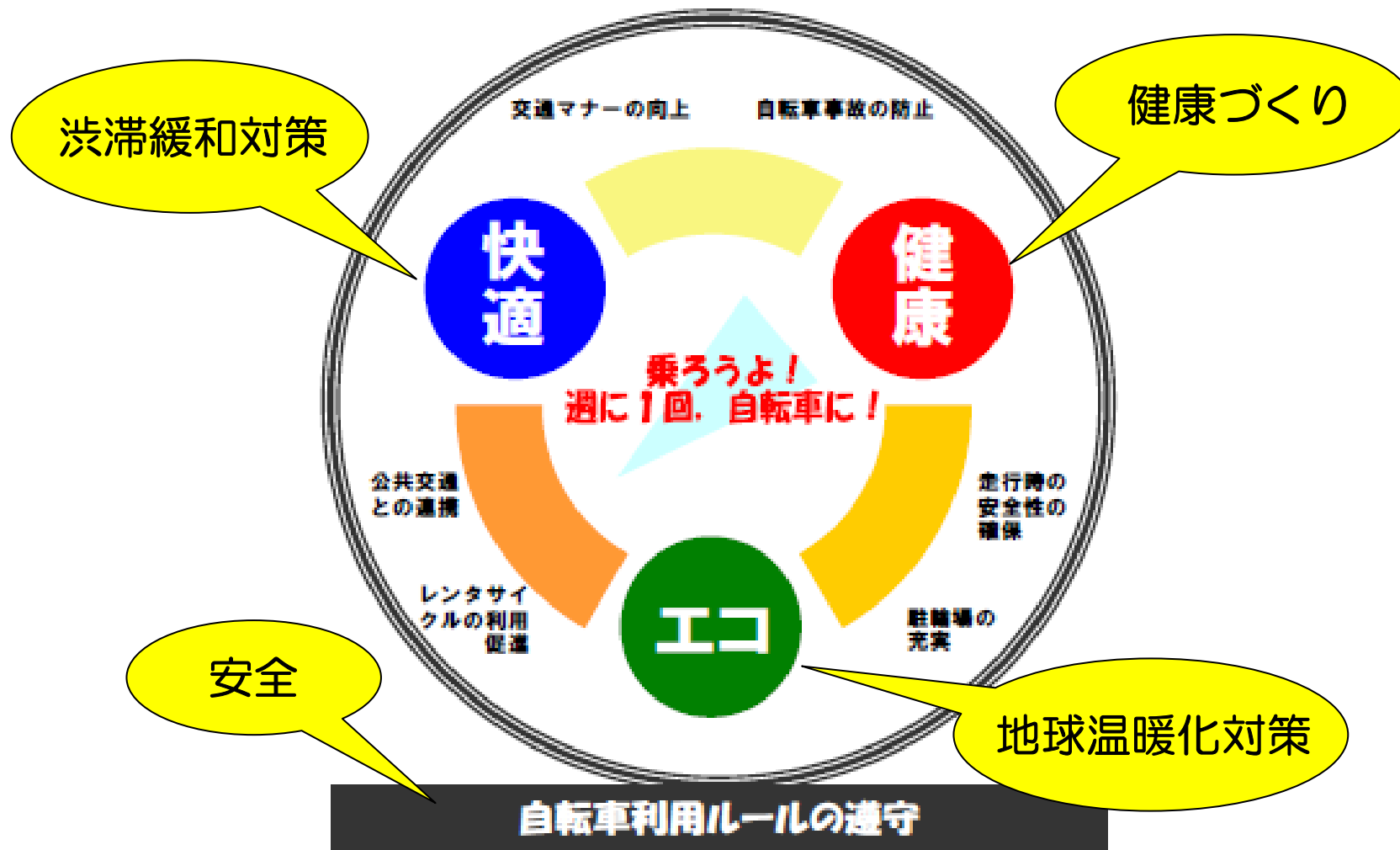
みんなの心がけと、鉄道・バスなどの事業者、道路を管理する行政が連携しないとね。



交通ルールを守ってない人や放置自転車、そして事故も多いよ。

そこで、これから自転車の利用を促進するため、みんな（市民・事業者・行政）が取り組むべきことを「基本方針」としてまとめました。

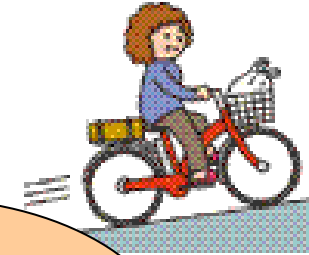
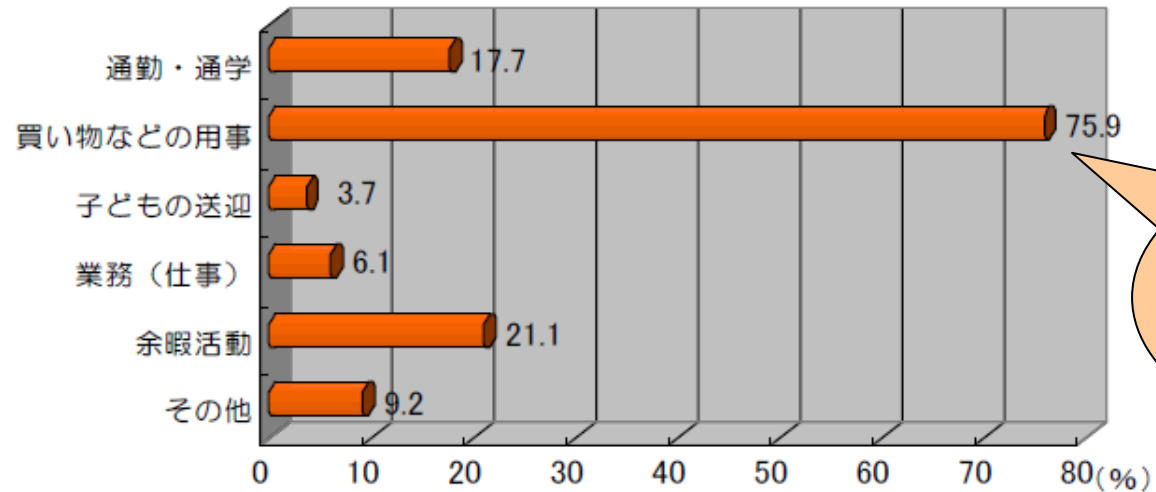
# 「基本方針」の内容はどうなっているの？



この基本方針は、『健康』『エコ』『快適』そして『安全』を柱として、今後の取り組みの方向性を示しています。

# 自転車を取り巻く現状やみんなの意識はどんなの？

## ①自転車の利用割合(市民アンケート調査より)

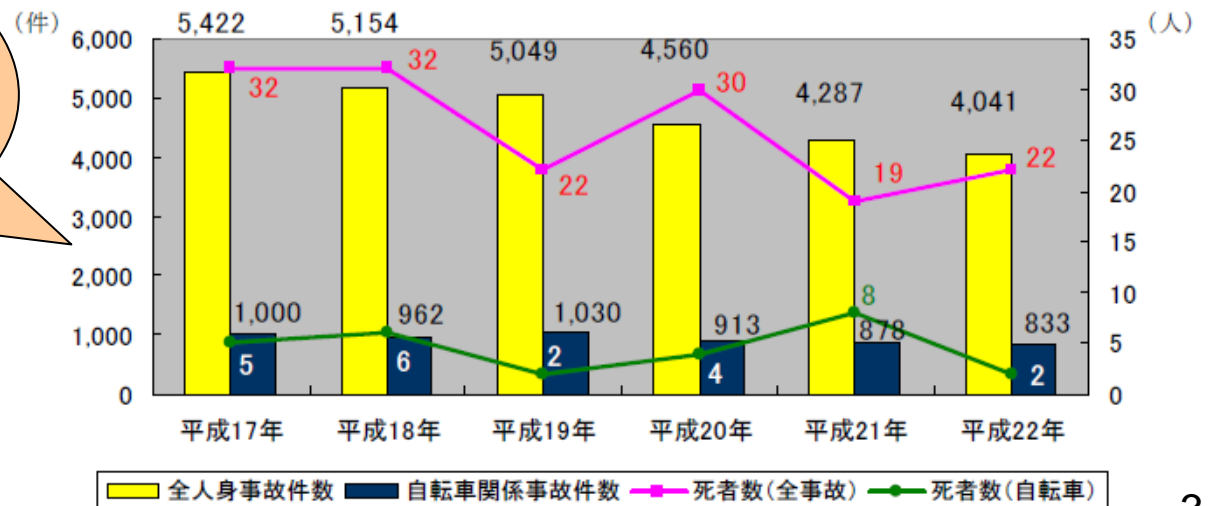


身近な買い物などで自転車を利用する人が最も多いよ。

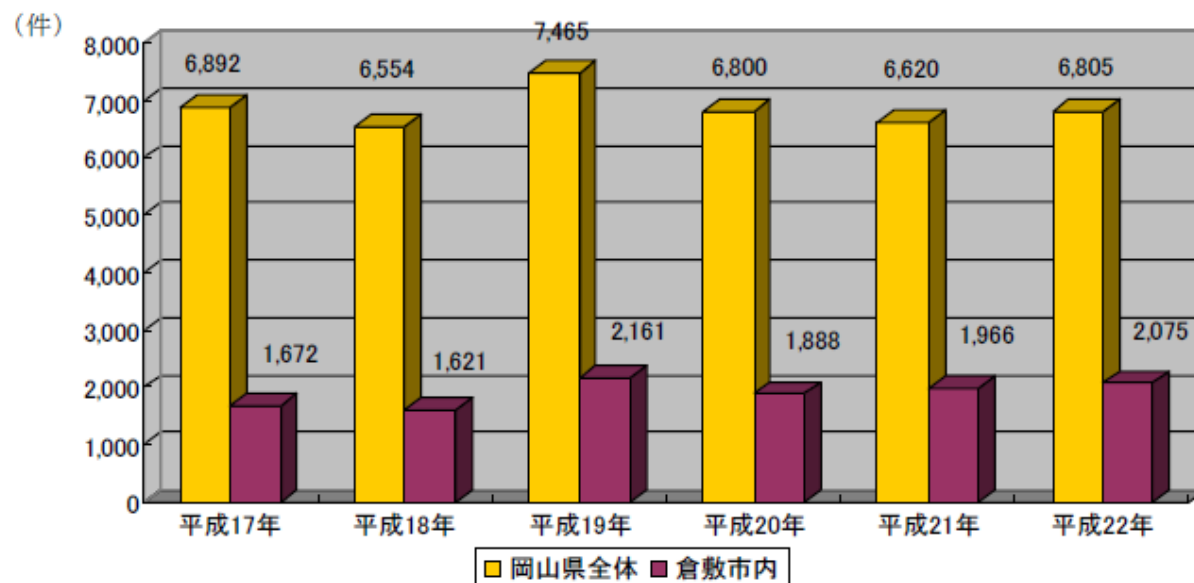
## ②自転車に関係した事故件数(岡山県警資料より)

口倉敷市内における人身事故件数及び自転車に関係する人身事故件数

市内では、自転車に関係する事故は減っているけど、年間800件を超える事故が発生しているよ。

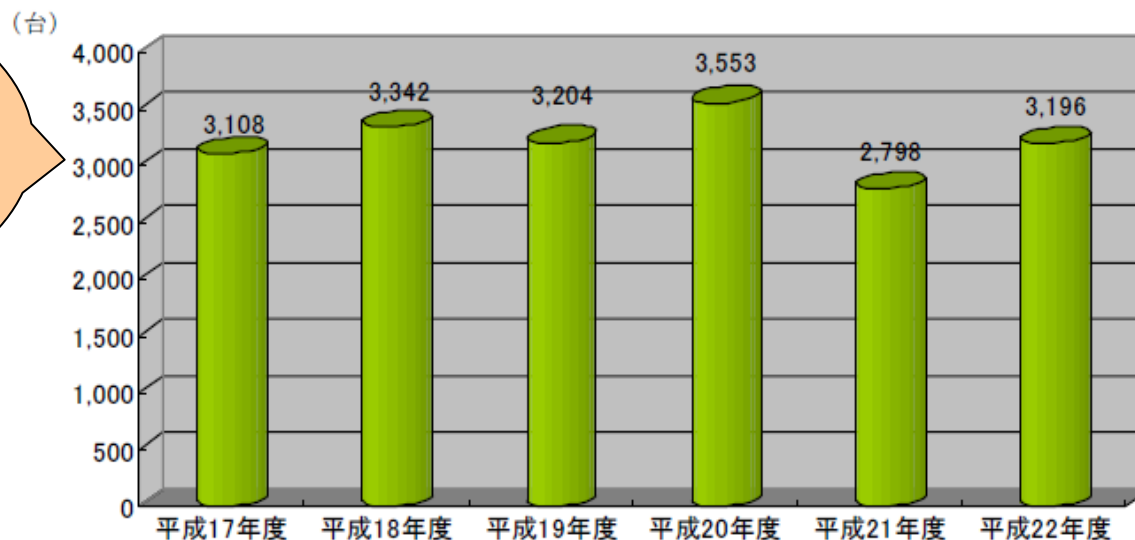


### ③自転車の盗難件数(岡山県警資料より)



市内での自転車盗難件数は、県全体の約3割だよ。

### ④放置自転車撤去件数(生活安全課, 道路管理課資料より)

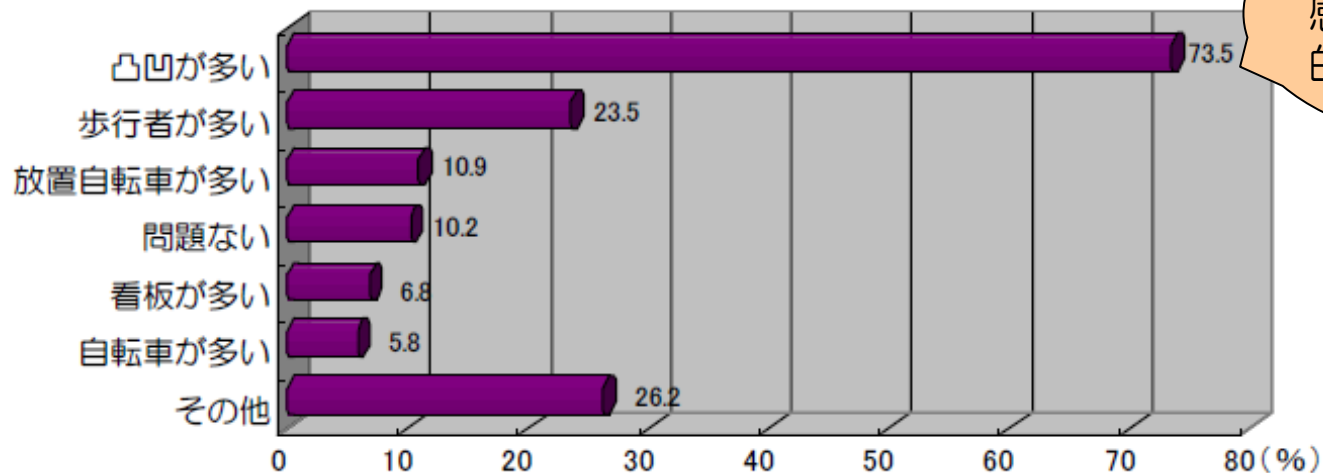


市内で路上や駐輪場内で放置された自転車の撤去件数は、毎年約3000件もあるよ。



市民アンケート調査から（対象：1,025人 回答：403人）

○市内の自転車の走行空間について

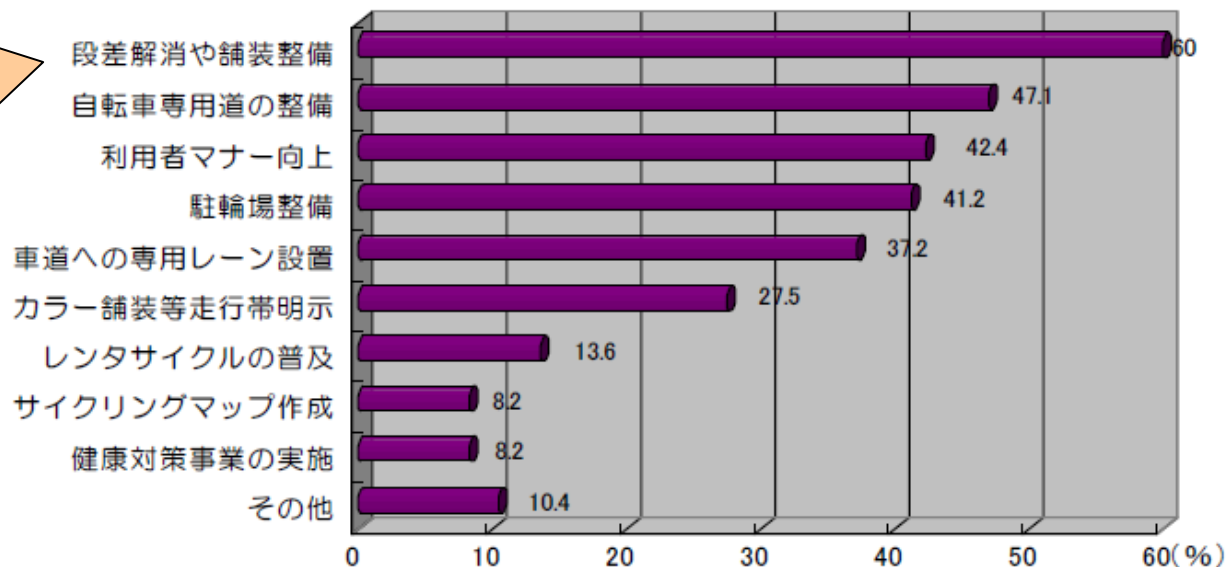


路面に凸凹が多いと  
感じている人が圧倒的  
に多いよ。

約6割の人が、走行環境の整備を、約4割の人が、利用者マナーの向上をしてきているよ。



○今後、自転車利用を促進するために必要なことは



# 現在、市ではどのような取り組みをしているの？

## 1. 自転車を利用した健康づくり

- ①健康くらしき21(倉敷市健康増進計画)における運動分野の推進
- ②国保特定保健指導事業

## 2. 自転車を利用したエコ施策

- ①ノーマイカーデーの取り組み
- ②エコ通勤の推進
- ③公務での自転車利用促進



## 3. 自転車走行時の安全性の確保

- ①障がい者や高齢者にやさしい公共施設改修事業
- ②都市計画道路の整備
- ③既存道路・歩道の新設改良整備
- ④交通安全施設の整備

## 4. 駐輪場の充実

- ①自転車駐車場管理事業



## 5. レンタサイクルの利用促進

- ①中心市街地のレンタサイクル
- ②レンタサイクル事業
- ③児島産業振興センター・レンタサイクル事業

## 6. 公共交通との連携

- ①水島臨海鉄道駐輪場及び上屋整備
- ②バス停留所併設駐輪場の整備



## 7. 交通マナーの向上

- ①放置自転車対策事業
- ②防犯関係事業
- ③3人乗り自転車普及啓発・無料貸出事業

## 8. 自転車事故の防止

- ①交通安全対策事業
- ②交通安全運動推進事業

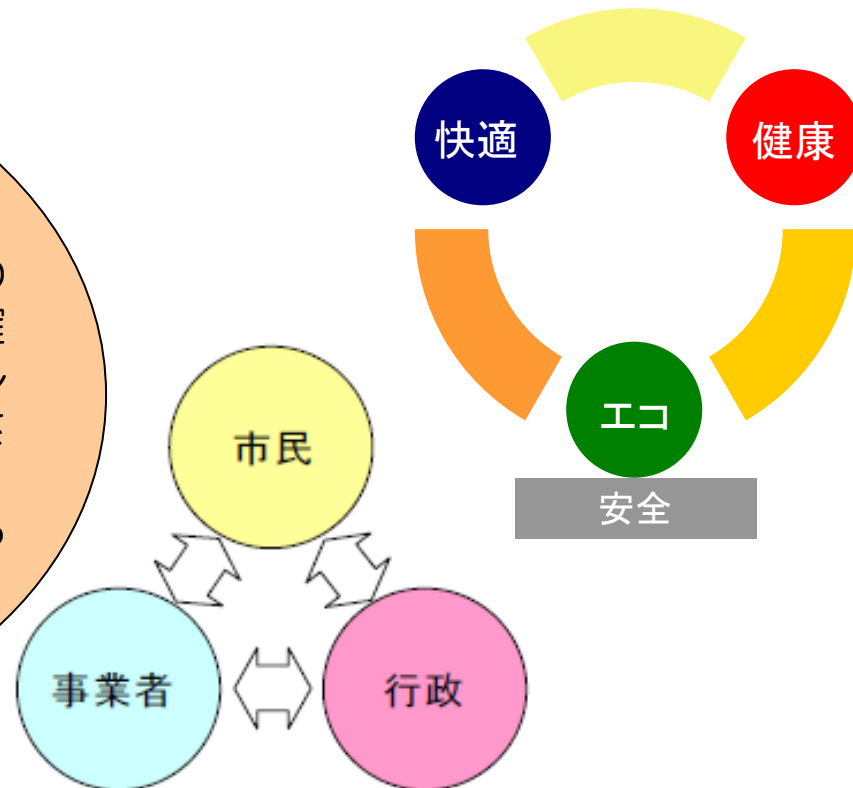


# 利用促進に向けてどのような取り組みをするの？

くらしきの今後のまちづくりと将来の移動の姿として

健康の増進や環境にやさしい  
「自動車に頼り過ぎないまちづくり」を目指します。

そのために、徒歩や自転車とバス・鉄道などの公共交通機関を組み合わせたネットワークでの移動体系の確立を目指し、健康・エコ・快適そして安全をキーワードに、市民の皆さまや各事業者、行政の協働により、安全な自転車利用環境の整ったまちづくりを推進します。



**乗ろうよ！週に1回、自転車に！**



# 楽しみながら健康づくり

走行距離による消費カロリーの計算により、目標を持って楽しく健康づくりを行います。また、運動を継続するための支援を行います。

市民 市



自転車歩行者道など、自転車が安全に走れる道を利用します。

市民

下津井電鉄軌道跡地など、楽しみながらサイクリングができる市内のコースをPRします。あわせて、市外・県外の人にも情報を発信します。

市



## 健康

●自転車や歩行者と自動車の事故発生が多い交差点の改良を行います。

市

●区画線等により、自転車と歩行者の通行帯を分離します。（歩道幅制限あり）



●自転車レーンの導入設置の可能性を検討します。



●見通しの悪い場所へカーブミラーを設置します。



# みんなでエコ意識

公共交通機関との連携のための駐輪場のPRに努めます。

事業者 市



近距離での買い物や通勤などの移動は、自動車から自転車へ切り替えます。

市民



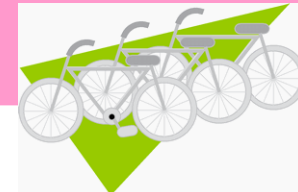
コンビニへは自転車で!

## エコ



駅周辺や観光地でのレンタサイクル利用のPRを行います。

事業者 市



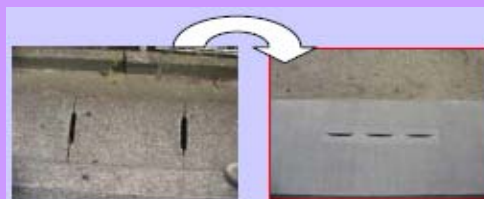
効果的なPRのため、3人乗り自転車の利用を促進します。

市



路面舗装の改修など、段差の解消を行います。

市



# スムーズ快適通勤

利用ニーズに沿った駐輪場の稼働率の向上や拡張を行います。

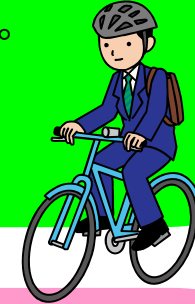


事業者

通勤方法を自動車から自転車へ変更します。事業者は、従業員が利用しやすい環境の整備に努めます。

**快適通勤**

市民 事業者 市



**快適**

自転車の放置防止を図るため、街頭指導や警告札の取り付け、撤去を行い、規範意識の啓発を行います。

市



交通事故防止運動を推進します。

市



鉄道の駅周辺やバス停併設の駐輪場のPRを行います。

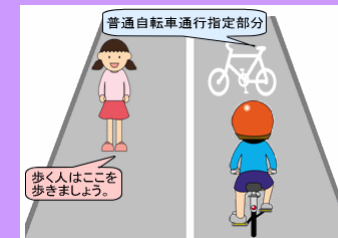
事業者

市



自転車が安全に走れる道を充実させます。

市



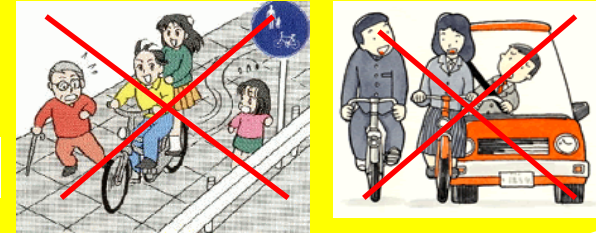
# 自転車利用ルールへの遵守

- ・必ず駐輪場や決められた場所に駐車します。
- ・駐輪時は必ず鍵をかけ、ワイヤー錠などでツーロックします。
- ・自転車の防犯登録を必ず行います。



市民

交通ルールを遵守します。



市民

## 安全

駅周辺の駐輪・防犯対策のため、監視員の配置や駐輪場内への監視カメラの設置を行います。



市

- ・交通安全教室の講習内容の充実を図ります。
- ・年代に応じた講習内容の工夫を行います。

市

岡山県警、岡山県等関係機関と連携し、交通ルールの周知と安全教育を推進します。

交通ルールを守りましょう



# 今後の自転車利用促進に向けて

基本方針に基づいて、市民も事業者も市も、自転車の利用促進に向け取り組んでいくよ。

市では、駐輪・防犯対策をしっかりと行い、駐輪場の利便性を向上させるよ。

これからは、歩行者も自動車も、そして自転車も交通ルールを守るよ。

走行環境整備など多額の経費が必要なものは、利用状況やコストなど費用対効果を十分検証して行っていくよ。

市では、駐輪場やサイクリングマップのPR、交通安全指導の充実などは、すぐに行うよ。

これからの自転車利用の促進には、皆さまのご理解とご協力が何より必要です。



【2. 自転車歩行者道 (主なもの)】

【倉敷地区①】



## カロリー消費量の計算

【男性の場合】

$$([MA] \times \text{体重} + [MB]) \times [C] \times \text{運動時間[分]} \div 1440$$

【女性の場合】

$$([WA] \times \text{体重} + [WB]) \times [C] \times \text{運動時間[分]} \div 1440$$

【例】体重70kgの40歳男性が自転車に60分乗った場合

$$(17.3 \times 70 + 336) \times 3.6 \times 60 \div 1440 = \underline{232.05kcal}$$

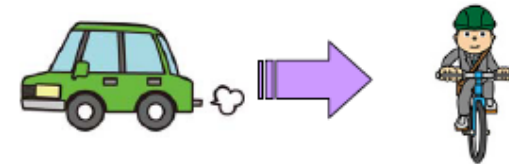
年 齢	男 性		女 性	
	[MA]	[MB]	[WA]	[WB]
18~29	18.6	347	18.3	272
30~49	17.3	336	16.8	263
50~69	16.7	301	16.0	247
70~	16.3	268	16.1	244

運動項目	係数[C]
自 転 車	3.6
歩 行	2.2

(基礎代謝量推定値(厚生労働省)による目安値)

## CO<sub>2</sub>(二酸化炭素算)削減量

【例】片道5kmの通勤を自動車から自転車に変更した場合



$$5\text{km} \times \text{往復} \times 240\text{日(年間)} = 2,400\text{km}$$

$$\text{車のCO}_2\text{(二酸化炭素)排出原単位(国土交通省)} = 0.164\text{kg/km}$$

$$\text{CO}_2\text{削減量(年間)} \quad 2,400\text{km} \times 0.164\text{kg/km} = \underline{393.6\text{kg}}$$